

本資料は、ヤマハ発動機IMDS運用マニュアルの「部品番号の付け方」の補足です。

IMDS運用マニュアル 補足資料

Ver. 3.1

ヤマハ発動機部品番号を有する構成部品の登録方法

1. 現状の課題とお願い
2. IMDSにおけるヤマハ発動機部品番号の入力
3. お取引先様のIMDSデータ管理品番による運用

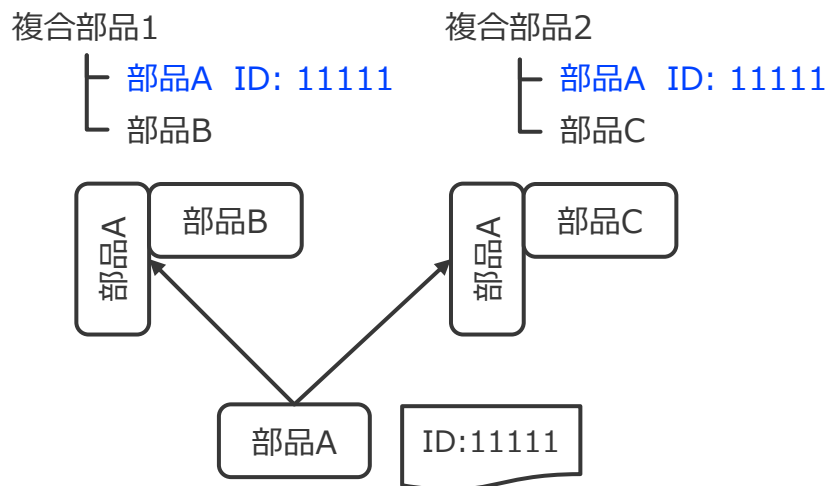
ヤマハ発動機(株) 環境推進部 環境統制監理グループ

1. 現状の課題とお願い

- データの更新管理を適切に行うために、同一部品のデータシートは同一である必要があります。しかし、複合部品において、構成部品が他の複合部品と共通であっても、複合部品毎に違うデータシートが使用されているケースが見受けられます。
- お取引先様において、**同じ部品に対して複数のデータシートを作成しない**ように、構成部品まで適切な管理をお願いします。
- 当社では、当社品番を有する単位でデータを管理しますので、**当社品番が付与された構成部品には、当社品番の入力をお願いします。**

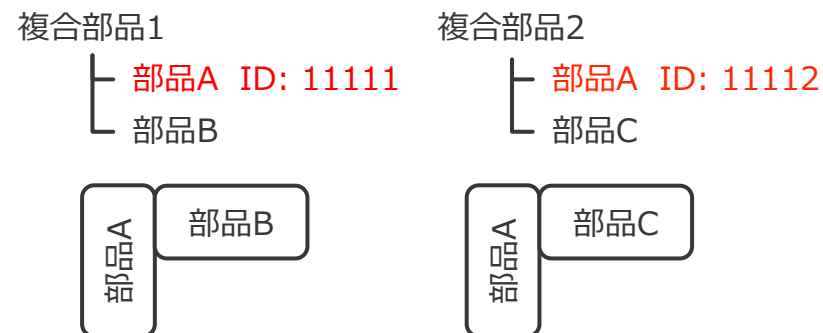
あるべき姿

同一部品は同じデータシートで、更新管理が容易に可能



現状の課題

同一部品に複数のデータシートが作成され、データ更新時に対応漏れの恐れが有る



2. IMDSにおけるヤマハ発動機部品番号の入力

図面の構成欄において、10桁のヤマハ発動機部品番号が指定されている場合は、IMDSに当社品番を入力してください。※1

基本的に、IMDSに入力する当社品番は、**該当品の取引で使用する番号を入力してください。**※2

- **納入部品：**グループ会社に依り、桁数は異なる場合があります（桁数はハイフン除く）。
発注や納品など、実際の取引で使用する品番を入力してください。

（例）14桁の場合：ABC-12345-00-00-80、98765-43210-00-80など

12桁の場合：ABC-12345-00-00、98765-43210-00など

10桁の場合：ABC-12345-00、98765-43210など

- **構成部品：**補修部品として取引がある場合は、その番号を入力してください。
構成部品単体で取引が無い場合は、親部品の桁数に依って次のように設定してください。
 - 親部品が14桁の場合：末尾に“-00-80”を付けて14桁とする。
 - 親部品が12桁の場合：末尾に“-00”を付けて12桁とする。
 - 親部品が10桁の場合：10桁のままとする。

※1 構成部品の図面において、更に構成部品が指定されている場合もあります。子部品まで漏れなくご確認ください。

※2 ただし、当社の依頼部門より個別に指示がある場合はその指示に従ってください。

3. お取引先様のIMDSデータ管理品番による運用

お取引先様におけるデータ管理上、構成部品に対して当社品番の入力が出来ない場合は、以下のご対応をお願いします。

(お取引先様における管理品番を登録して作成された場合や、仕入先様からお取引先様における管理品番で受信された場合など)

- 当社品番を有する構成部品は、その単位でIMDSデータを**別途先行**して送信してください。その際、IMDSの「送信先情報」へ 当社品番を入力してください。

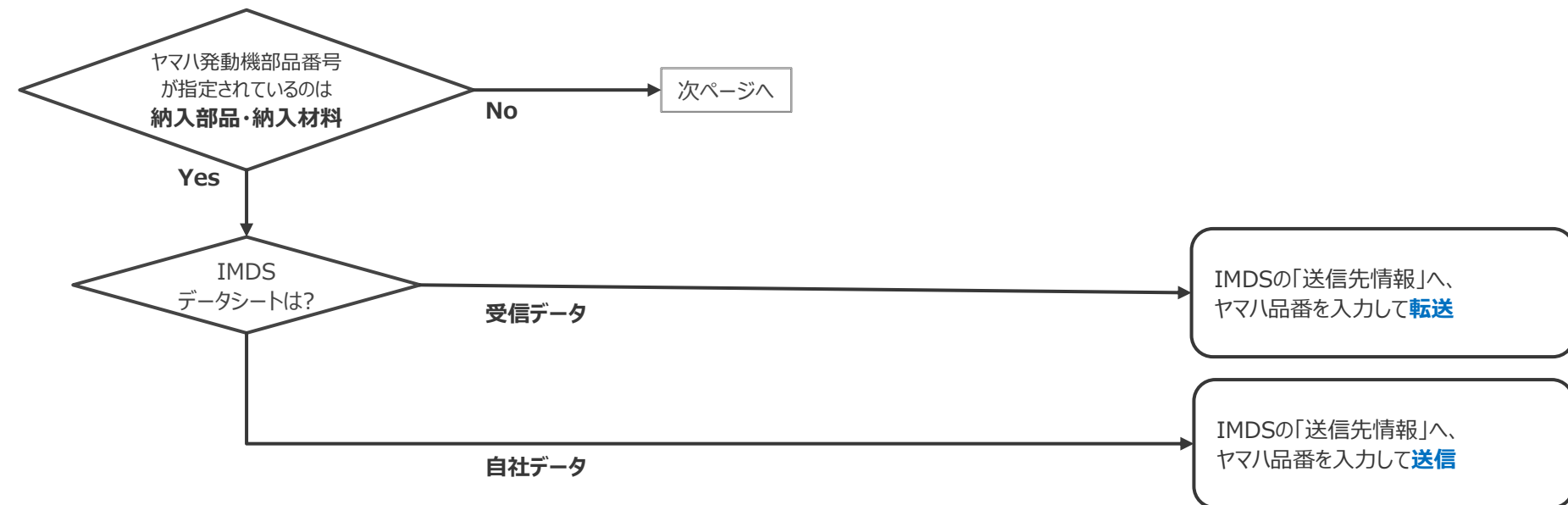
	IMDS 操作		IMDSデータ作成時に入力する部品番号	
			ヤマハ品番	お取引先品番
納入部品	作成	トップノード	ヤマハ品番を入力	お取引先品番を入力
		作成した構成部品	作成したデータを参照 (ヤマハ品番)	作成したデータを参照※2 (お取引先品番)
		受信した構成部品	受信データを参照 (ヤマハ品番)	受信データを参照 (転送バージョンのオリジナルデータ)
	送信 (送信先情報)		ヤマハ品番を入力	ヤマハ品番を入力
構成部品 (自社作成データ)	作成 (構成情報)		ヤマハ品番を入力	お取引先品番を入力
	送信 (送信先情報)		不要	ヤマハ品番を入力※1
構成部品 (仕入先からの受信データ)	作成 (構成情報)		(仕入先から当社品番で受信) 不要	(仕入先からお取引先品番で受信) 転送バージョンを作成
	送信 (送信先情報)		不要	ヤマハ品番を入力※1

※1 各構成部品それぞれのデータシートを、下位レベルの構成部品から順に、個別に送信してください。

※2 必ず、個別に先行送信した構成部品と同じデータシートを参照してください。

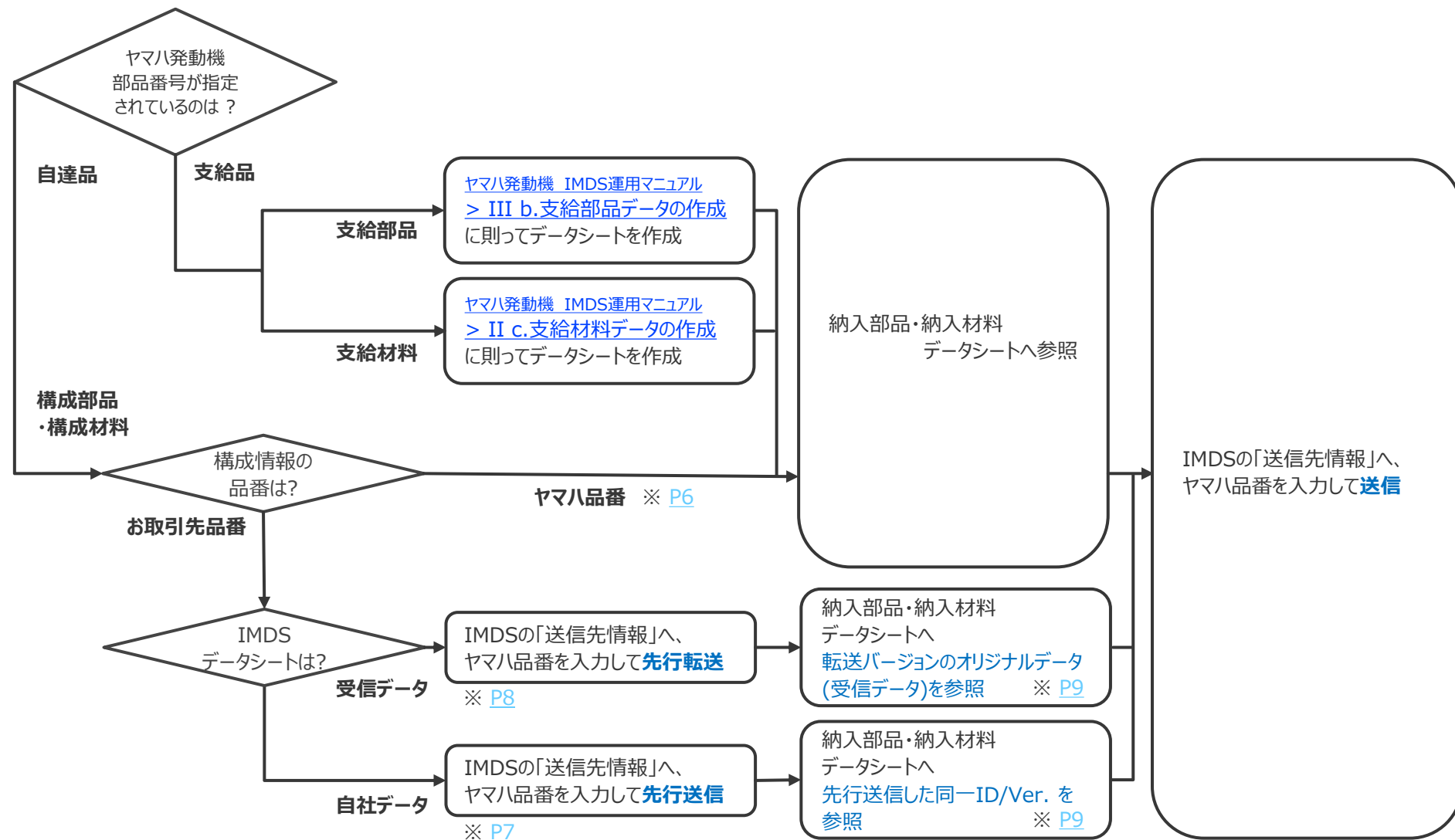
3. お取引先様のIMDSデータ管理品番による運用

IMDSにおけるヤマハ発動機部品番号への対応フロー（納入部品・納入材料 ※ トップノード）



3. お取引先様のIMDSデータ管理品番による運用

IMDSにおけるヤマハ発動機部品番号への対応フロー（構成部品・構成材料）



ヤマハ品番で作成、送信する場合



構成部品のデータは、納入部品のデータと一括で送信が可能です

IMDS 操作	IMDSデータ作成時に入力する部品番号	
	ヤマハ品番	お取引先品番
納入部品	作成	ヤマハ品番を入力
	作成 (後者供給)	お取引先品番を入力
	作成 (後者供給)	お取引先品番を入力
	作成 (後者供給)	お取引先品番を入力
構成部品 (自社生産 データ)	作成 (後者供給)	ヤマハ品番を入力
	作成 (後者供給)	お取引先品番を入力
	作成 (後者供給)	お取引先品番を入力
	作成 (後者供給)	お取引先品番を入力
納入部品 (仕入先から の受取データ)	作成 (後者供給)	ヤマハ品番を入力
	作成 (後者供給)	お取引先品番を入力
	作成 (後者供給)	お取引先品番を入力
	作成 (後者供給)	お取引先品番を入力

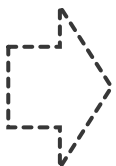
- 1. 構成部品のデータ作成：ヤマハ品番で作成、又は仕入先から受信
- 2. 納入部品のデータ作成：
 トップノード：ヤマハ品番で作成
 構成部品：作成・受信した構成部品のデータを参照
- 3. 納入部品のデータの送信

構成部品のデータ作成

■ YMC-11111-00-00-80
ヤマハ品番で作成

■ YMC-22222-00-00-80
ヤマハ品番で作成

■ YMC-33333-00-00-80
仕入先からヤマハ品番で受信



納入部品（複合部品）のデータ作成

■ YMC-10000-00-00-80

■ YMC-11111-00-00-80

■ YMC-22222-00-00-80

■ YMC-33333-00-00-80

トップノードをヤマハ品番で作成
作成データを参照
作成データを参照
受信データを参照



- ※ ヤマハ品番の構成部品のデータは
ヤマハへの送信は不要です
- ※ 単品毎に内容の確認が必要な場合は
個別に送信して頂いても結構です

納入部品のデータをヤマハに
送信してください

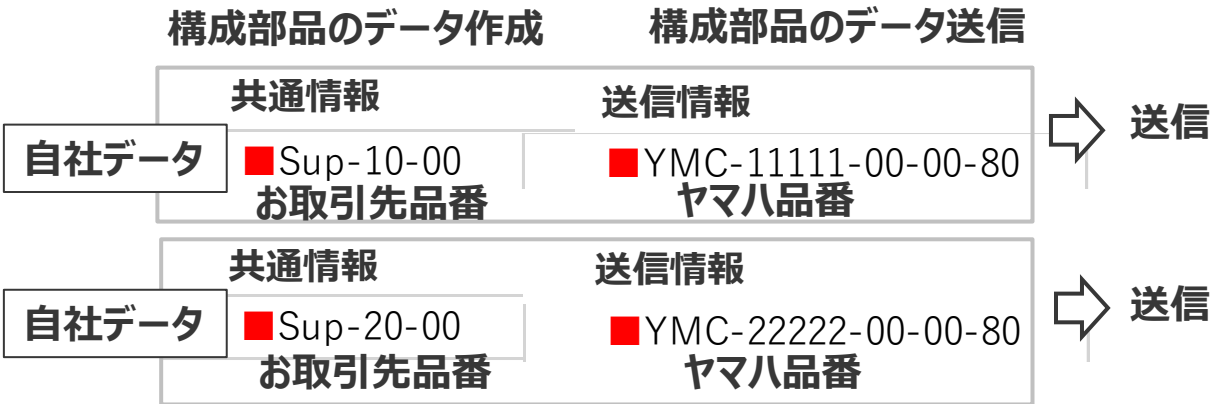
お取引先品番でデータを作成する場合 1/3
(お取引先自社の構成部品データ)



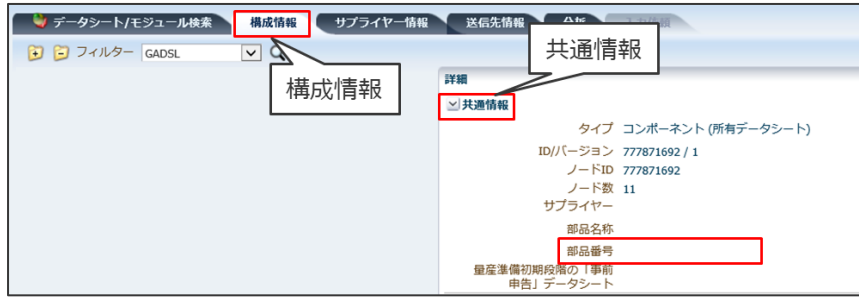
納入部品データ作成の前に、構成部品データを個別に作成、送信してください。

IMDS 操作	IMDSデータ作成時に入力する部品番号	
	ヤマハ品番	お取引先品番
納入部品	作成 (トップ)	ヤマハ品番を入力
	作成 (部品上 構成部品)	作成したデータを作成 (ヤマハ品番)
	受取上 構成部品	受取データを作成 (ヤマハ品番)
	送信 (後者情報)	ヤマハ品番を入力
構成部品 (自社情報 データ)	作成 (後者情報)	ヤマハ品番を入力
	送信 (後者情報)	お取引先品番を入力
	作成 (後者情報)	お取引先品番を入力
	送信 (後者情報)	お取引先品番を入力

構成部品のデータシート作成時は構成情報タブの「共通情報」にお取引先品番を入力し、
送信時は送信先情報タブの「送信情報」にヤマハ品番を入力して個別に送信してください。



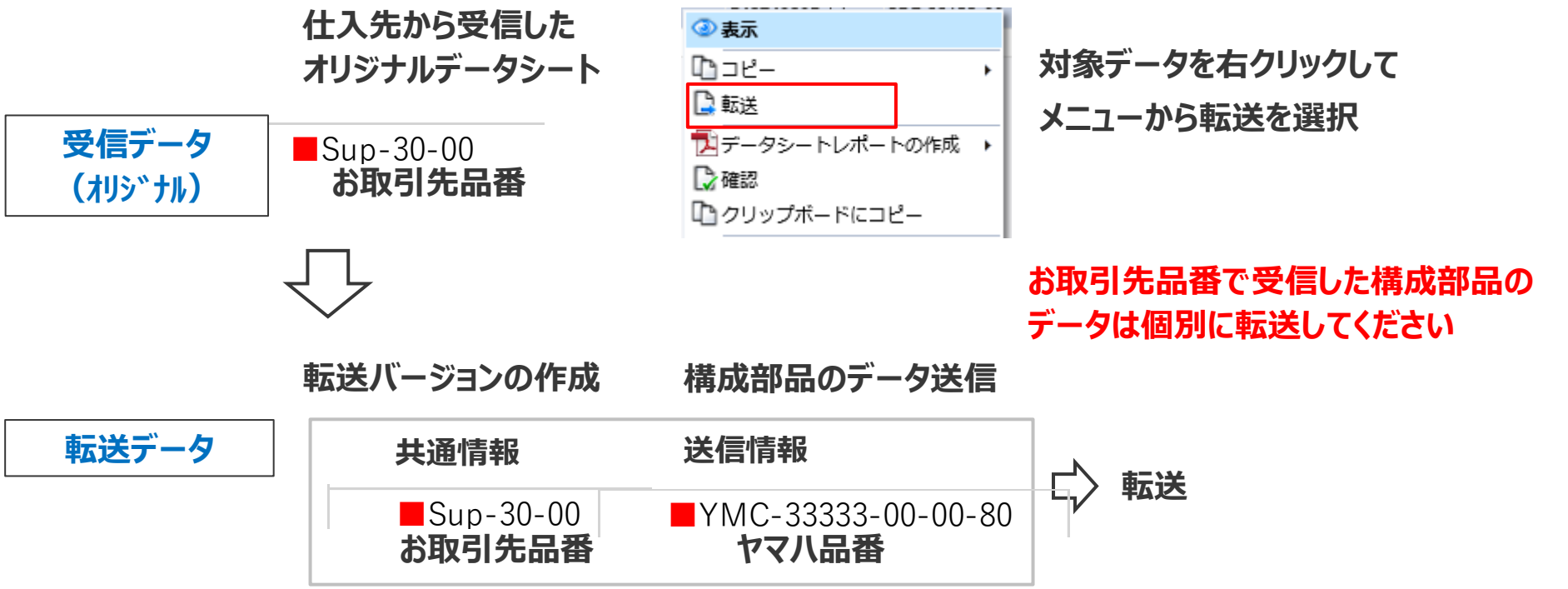
お取引先品番で作成した構成部品の
データは個別に送信してください



構成部品のデータシートが仕入先から受信したデータの場合、IMDSの受信済みデータシートから対象データを右クリックしてメニューを開き、「転送」を選択して転送バージョンを作成してください。

転送バージョンの「送信情報」にヤマハ品番を入力して個別に転送してください。

IMDS 操作	IMDSデータ作成時に入力する部品番号	
	ヤマハ品番	お取引先品番
納入部品	作成	ヤマハ品番を入力
	送信 (後者情報)	お取引先品番を入力
	作成 (後者情報)	お取引先品番を入力
	送信 (後者情報)	お取引先品番を入力
構成部品 (自社品番データ)	作成 (後者情報)	ヤマハ品番を入力
	送信 (後者情報)	お取引先品番を入力
構成部品 (仕入先からの受信データ)	作成 (後者情報)	お取引先品番を入力
	送信 (後者情報)	お取引先品番を入力



構成部品のデータを参照して納入部品データを作成し、送信してください

	IMDS 操作	IMDSデータ作成時に入力する部品番号	
		ヤマハ品番	お取引先品番
納入部品	作成	ヤマハ品番を入力	お取引先品番を入力
	トップ	作成したデータを参照 (ヤマハ品番)	作成したデータを参照※2 (お取引先品番)
	作成した 構成部品	受信データを参照 (ヤマハ品番)	受信データを参照 (お取引先品番)
	受信した 構成部品	送信データを参照 (ヤマハ品番)	送信データを参照 (お取引先品番)
送信 (後者情報)		ヤマハ品番を入力	ヤマハ品番を入力
構成部品 (自社情報 データ)	作成 (後者情報)	ヤマハ品番を入力	お取引先品番を入力
送信 (後者情報)		不要	ヤマハ品番を入力※1
構成部品 (仕入先から 受信データ)	作成 (後者情報)	(仕入先から当社品番で受信)	(仕入先からお取引先品番で受信)
送信 (後者情報)		不要	輸送バージョンを作成 ヤマハ品番を入力※1

1. 納入部品のデータの作成：

■ 共通情報

■ Sup-00-00 (トップノード) お取引先品番で作成

自社データ	■ Sup-10-00	(作成した構成部品) ヤマハに送信したデータを参照
自社データ	■ Sup-20-00	(作成した構成部品) ヤマハに送信したデータを参照
受信データ (オリジナル)	■ Sup-30-00	(受信した構成部品) 仕入先から受信したオリジナルのデータシートを参照※

※ 構成部品のデータはヤマハに転送したデータではなく、オリジナルのデータシートを参照してください。
(確認方法は、P 11を参照ください。)

2. 納入部品のデータの送信：「送信情報」にヤマハ品番を入力して送信

共通情報	送信情報
■ Sup-00-00	■ YMC-10000-00-00-80
■ Sup-10-00	ヤマハ品番
■ Sup-20-00	
■ Sup-30-00	
お取引先品番	

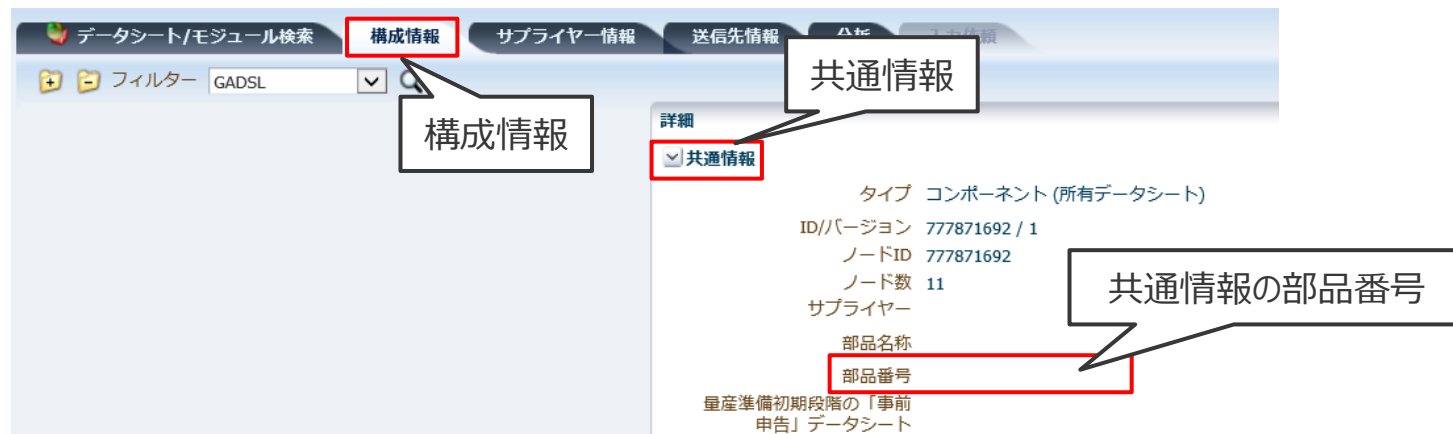


(参考) IMDSの「共通情報」と「送信情報」

IMDSは「共通情報」と「送信情報」の2つの情報（部品番号）を持つことができます。

「共通情報」はデータ作成時、「送信情報」はデータ送信時に入力します。

データ作成時：「共通情報」への部品番号の入力

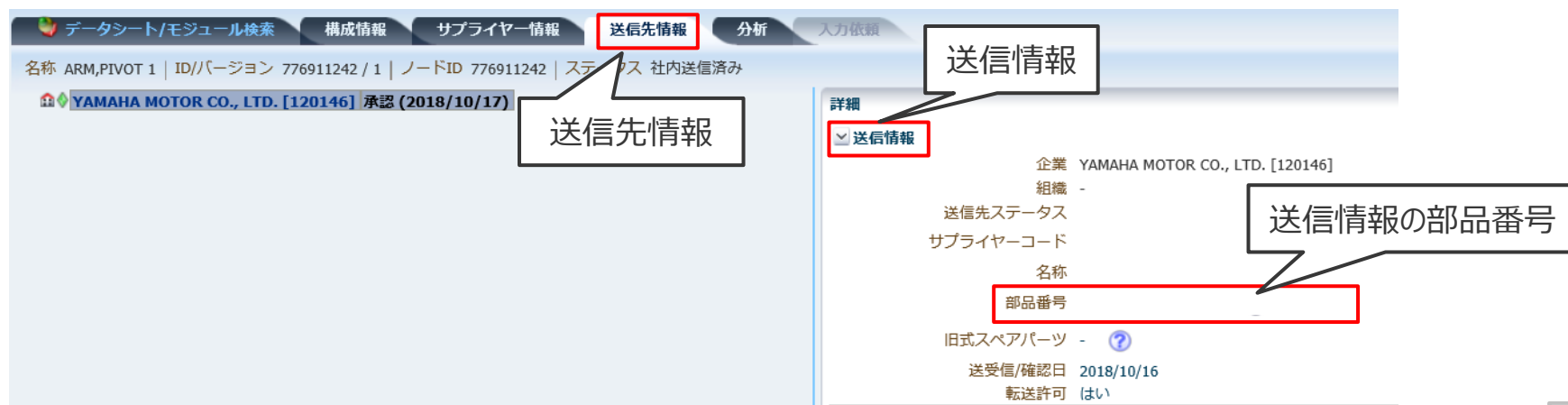


The screenshot shows the '共通情報' (Common Information) tab selected in the IMDS interface. The '構成情報' (Structure Information) tab is also visible. The '共通情報' section is expanded, showing the following details:

- タイプ: コンポーネント (所有データシート)
- ID/バージョン: 777871692 / 1
- ノードID: 777871692
- ノード数: 11
- サプライヤー:
- 部品名称:
- 部品番号: (Red box highlighting the input field)

A callout box points to the '部品番号' field with the text: 共通情報の部品番号

データ送信時：「送信情報」への部品番号の入力



The screenshot shows the '送信情報' (Transmission Information) tab selected in the IMDS interface. The '送信先情報' (Destination Information) tab is also visible. The '送信情報' section is expanded, showing the following details:

- 企業: YAMAHA MOTOR CO., LTD. [120146]
- 組織: -
- 送信先ステータス:
- サプライヤーコード:
- 名称:
- 部品番号: (Red box highlighting the input field)
- 旧式スペアパーツ: -
- 送受信/確認日: 2018/10/16
- 転送許可: はい

A callout box points to the '部品番号' field with the text: 送信情報の部品番号

(参考) IMDSの「オリジナルのデータシート」の確認方法

IMDSでは「転送されたデータシート」から「オリジナルのデータシート」を確認することができます。

構成情報画面 > データシート > 転送 >

- 「オリジナルのデータシート」(受信したデータシート)
- 「転送されたデータシート」(所有データシート)



※ 「オリジナルのデータシート」から「転送されたデータシート」を確認することもできます。

※ 転送データシートのバージョンアップについて

作成元から転送前のオリジナルのデータシートに対して 同一ID・バージョンアップでの 修正・再送 データを取得してください。
 新しいバージョンのデータシートを、「受信→承認→再転送」いただくことにより、該当する 当社品番 の同一ID・バージョンアップ
 データを送信いただくことができます。

※ IMDS データシート転送について詳細は、

[IMDSユーザーマニュアル](#) > 3.3.18 データシートの公開と転送 をご参照ください。



Ver.	内容	日付	担当部署	担当者
1.0	新規発行	2025/10/01	ヤマハ発動機(株) 環境推進部 環境統制監理 グループ	加藤
2.0	お取引先品番を入力する場合に、方法2を追加	2020/03/09	ヤマハ発動機(株) 環境推進部 環境統制監理 グループ	棚田
3.0	発行者名変更 貿易管理部 環境負荷物質管理グループ => 環境推進部 環境統制監理グループ	2025/10/30	ヤマハ発動機(株) 環境推進部 環境統制監理 グループ	畑
3.1	対照表に関する表示削除 対応フロー 追加 (P4~5) 参考資料 追加 (P11)	2026/03/16	ヤマハ発動機(株) 環境推進部 環境統制監理 グループ	畑

問合せ先

ヤマハ発動機(株) 環境推進部 環境統制監理グループ

電話番号: 0538-32-9905

email : env.tech@yamaha-motor.co.jp